

メンタルヘルス通信

＜第 124 号＞

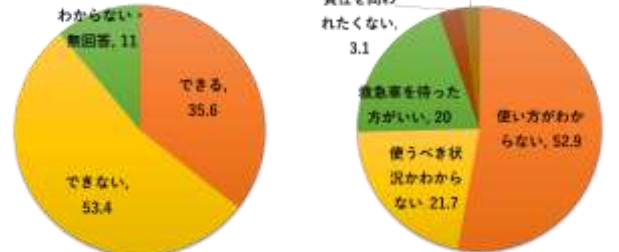
2023年2月3日
香川県教育委員会事務局
健康 福利 課

救急車がくるまでにできること～ 心理的視点から～

一段と寒さが厳しくなりました！皆様お元気ですか？怖いことに冬は、寒暖差による心停止も起き易くなるそうです。

心停止となった人の心臓の動きを正常に戻す医療機器といえば AED。いざ使うとなると…私は、怖気づいてしまいそうです。平成 26 年 4 月の NHK のアンケートによると、半数以上の市民が「AED を使うことができない」と答えており、そのうち 70%以上の人が、AED の正しい知識がないために使用を躊躇するようです。AED の使い方については、動画やイラストなどたくさんの情報がインターネット上にもあります。(ちなみに 2 月の県教育委員会事務局の衛生委員会では「AED 講習」をする予定です)今回のメンタルヘルス通信では、「AED を使うことをためらう心理」について考えてみたいと思います。

AED に関する意識調査結果



見知らぬ人が突然心停止に。
その人に AED を使えますか？

「できない」理由は？

2014.4月 NHK による電話調査 20 歳以上の男女 3001 人中 1780 人が回答
NHK の発表をもとにグラフを作成

◆ 御存知ですか？「傍観者効果」 ◆

他者に対し援助すべき状況であるにもかかわらず、周囲に多くの人がいることによって、援助行動が抑制されてしまう集団心理を**傍観者効果**といいます。

原因：①「責任の分散」②「聴衆抑制」③「多元的無知」など



傍観者効果を起こさないためにどうしたら良いのか、その対策方法

- (1) 緊急事態への対応方法を日頃から考えておく (シミュレーションしておく)
- (2) 最悪の事態を想定して動く
- (3) 指名して具体的に指示を出す

そのピンクのセーターの方、
119 番してください

紺のネクタイの方、
大通りから救急車の誘導をお願いします



◆ ためらわないで！倒れた女性に AED プライバシーの配慮も必要 ◆

京都大学等の研究グループから次のような報告がありました。全国の学校の構内で心停止となった子ども 232 人について、救急隊が到着する前に AED のパッドが装着されたかどうか調べたところ、小学生と中学生では男女に有意な差はなかったのに、高校生になると大きな男女差が出ていました。「女性の服を脱がせることへの抵抗感から、AED の使用率に男女差が生じているのでは」と研究グループは分析をしていました。それを受けて東京都多摩府中保健所は以下 2 点について普及啓発用リーフレットを作成しました。

(http://www.gsmc.titech.ac.jp/aed/aed_jyosei.pdf)

- ① 服をすべて脱がせる必要はなく、下着をずらして貼ることで対応
- ② パッド装着後、その上から服などをかけて肌を隠す

肩を組んで
パーテーションを作ろう



難しく考えず、自分の家族が倒れたら、どうするだろう…？ と想像してみる事が一番なのかもしれません。